

変貌する風景

変貌する心象

町内会連合会 小林徳蔵

変貌ぶりをみるために、ここ四年間にわたる如水館高校移転関連事項の記述にざっと目を通してみます。

(一)

平成二年六月二十日、山中学園による地権者へグラウンド造成説明会

三年七月二十四日、溝手市長市議会

で二中の校区内移転、如水館全面移転計画発表。二十六日、深

町三町内会長が溝手市長と会見

三年九月二十五日、山中学園説明会

出席者、山中学園関係者、山本

助役、守安教育長、中津参事。

四年十月九日、山中学園移転深町協

議会結成。

四年十一月十二日、山中学園校舎、

グラウンド敷地造成工事に関し協

定書締結。

五年三月四日、如水館高校敷地造成

校舎建築起工式。

五年四月二十四日、深町町内会連合

会設立総会。

六年三月十三日、学園橋開通式。

(二)

ところで、学園橋開通式は、「ままとまった地域・深町」という事実を広く内外に印象づけました。昔から儀式というものにはなぜか人間を納得させるものがあるといいますが、まさにその通りでいい勉強をしました。

大坂城

村上直子

一日めのはじめに大坂城に行きました。城に入る前にびっくりしたのは屋根がわらです。私は城だから、てっきり屋根がわらは黒かこん色ぐらいだと思っていました。でも緑色のかわらだったので昔はこんな色の屋根の城があったのかと思いました。城の中には昔使っていたものや、

戦いの様子を巻物にした絵や、身につけていたものがいろいろありました。なかでもよろいはとても重そうでした。こんなものを身につけていたというのが信じられないほどおどろきました。そのうえ、長くて重い鉄ぼ

(四)

この原稿を書いている今七月下旬、如水館高校は引越しのまっ最中。来る九月一日には深町で始業式です。

(五)

さて、この先、深町の風景―心象風景はどう変貌するのでしょうか。どうか皆さん、共に考えてください。次は、昼間人口からみた深町の現状です。

①深町の人口・・・九〇五人

(六月三十日現在)

②如水館高校生徒数・一三四〇人

③山中学園法人職員・如水館高校職員(非常勤を含む)一二四人

④徒歩通学生徒数・・・約五〇人

⑤自転車通学生徒数・・・一八二人

⑥如水館行バス(朝の便のみ記載)

・三原駅より(特急バス)一六便

・尾道駅より(特急バス)二便

・久井、御調より(特急バス)二便

・松永駅より(特急バス)二便

歩道づくり

高崎 修

深町の皆さんが強い関心をお持ち

もの、歩道設置についての第一

回説明会が、去る七月二十二日、

午後七時三十分から、深町民会館

で、町内会連合会主催で開催ま

した。

出席者は、三原県土木三人、三

原市建設部監理課三人、地権者十

二人、連合会役員三人。

県当局の説明内容

一 土地の提供と測量について地権者の協力を求める為の説明会であること。

二 歩道は有効幅三米を予定。

歩道と併せ、現在の県道も改良し、拡幅する(〇・九米)

三 歩道は県道の北側へつけたい

家屋・構造物は出来るだけさ

けたい。

うや、刀も持つので、昔はすごい

力もちの人がたくさんいたんだな

あとびっくりしました。

天守閣のいちばん上にあがると、

大阪の町がよく見えました。ここ

からのながめは最高でした。▲▲

四 県道の急カーブは、この機会に改良したい。

五 歩道については国庫補助を予定

して居り、その条件として、全

区間工事が出ること。

だいたい以上の内容でしたが、念

願の歩道完成のため、地権者、関係

者のご協力をお願い致します。▲▲

アジア大会出場

おめでとう

十月に開かれる広島アジア大会に

向井孝博さんの出場が決まりました

向井さんは三十七歳、今まで団体

世界選手権、オリンピック二回出場

という経歴の持ち主です。出場種目

は、レスリング・グレコローマンス

スタイル八十二キロ級です。町を挙げ

て応援しましょう。▲▲

いらっしやいませ

尾高昭明さん一家五人、峠講に転

入されました。94/6。

各種団体八月行事予定

★女性会

▼親睦会(上)8/24中8/6(下)8/5

★消防団

▼消防実戦訓練8/21(土)8/22(日)

★町内会

▼(全)盆踊り・太鼓踊り・カラ

オケ8/15

▼(中)・町民会館大掃除8/7

・二十三夜8/20

▼(下)・総仏さん8/19

★尚寿会

▼薬剤師を招いての健康講座8/上

★小学校

▼平和学習会8/30校舎内外清掃

作業8/28

――十五年以上無借金経営を続け

席してきた大手分析機器メーカーの社

長は最近、無借金経営が気になり

展だしたという。▼「無借金なら銀

行などから口をはさまれない。ただ

それに安住すると経営が甘くなり、

……」――目撃者2名▼外部や部下の

提言やチェックに素直に耳を傾ける

ことは、云われる程やさしいことで

はない。▼この社長は、きつと経営

の原点に立ち返って、「如何にある

べきか」を真剣に考えておられるに

違いない。人の「進歩・向上」には

謙虚さも一つの条件かも知れない。